

日銀神戸 支店長の 視点

山崎真人氏



神戸に暮らして1年が過ぎました。街歩きが好きな自分にとって三宮や元町周辺の散策はなによりの楽しみです。

商店街や旧居留地エリアでは、ブランドからカジュアルまでセンスのよいお店が並び、多彩な買い物が可能です。飲食店も多く、和洋中のおいしいお店がそろっています。特に南京町の中華街は目にも楽しく、つい豚まんの大行列に並んでしまいます。

元町を過ぎると「楠公さん」、昔みた大河ドラマの太平記を思い出しながらお参りしたのち、地下に下りると、卓球場が並び、昭和情緒が残る異空間がひろがっています。さらに進むと新開地、喜楽館で聴く上方落語のリズムは、心地よく耳に入ってきます。そこから北上すると東山商店街、屋網の活魚が跳ねる

「快適さ」さらに磨き上げて

活気ある市民の台所です。お総菜屋さんも多く、購買意欲がそそられます。

このように神戸の街は、日常生活をはじめ歴史や文化がコンパクトに凝縮されており、関西の住みたい街ランキングで常に上位に入るのも納得です。

そして今、神戸はさらなる進化を続けています。玄關口のJR三ノ宮駅ビルの再開発が動き出しているほか、ウォーターフロントの整備が進み、「港町」としての新たな魅力が引き出されつつあります。人口減少が進むわが国ですが、恵まれた自然環境に歴史と伝統を備えた神戸が「快適な暮らし」という強みを磨き上げることで、一段と存在感を高めていくことを期待しています。

このたび、残念ながら神戸を離れることとなりましたが、これからも神戸そして兵庫を愛する者として、当地の発展をお祈りしています。

◆日本銀行神戸支店の山崎真人支店長は25日付で金融機構局に異動となりました。後任は発券局の竜田博之参事役です。